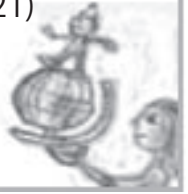


本学と稚内市教委の懇談内容について

——— 昨秋に続く3回目、年度末総括の議事録(要点)



大きな成果を土台に、連携2年目はより豊かな活動へ

議題1 「放課後学カグングン塾」の今後について

○市教委から、成果は前回懇談で確認済み、児童と指導員からとても信頼される活動だった。
○大学から、貴重な実習機会。地域貢献の自覚と感謝の心(有償ボランティア含)育っている。

【今後の方向】

- 引き続き前期(4~10月予定)、週1回(火曜の児童放課後)、有償ボランティアの継続。
- 春期休業中開催「グングン塾」に対する協力要請(3月末~4月初旬予定)
- 学生の自発的参加で無料塾等の開催(有償ボランティアと対になる無償の地域貢献活動)

議題2 ICT利用教育の推進について

○年間3回の研修(各2時間、各30名の教員参加)で、ICTを使った授業の基礎基本を学び授業に生かす機会だった。市として潮見小中のICT実践モデル校(学校授業改善)指定。
○大学と学校現場が、独自の課題解決を相互の連携で解決できる可能性を意識できた。

【今後の方向】

- 引き続き、ICT教育についての研修講座の開催。
- 学校ニーズに応えるICT教育振興のため、現状と課題を市教育研究所と共同調査したい。

議題3 大学の「まちラボ」の連携依頼に対する市教委の意見

※大学から、「まちラボ」の4月スタートにあたって、稚市教委の管轄部分で連携・協力を依頼したい内容を口頭で説明し、自由に懇談を行った。以下、市教委の見解。

①市立図書館との連携・協力で、「大学図書館の分室」を作りたいのだが

▲現時点では、市立図書館の分室として貸出・返却は困難。但し、月間200冊貸出し分を室内で読むのは可能▲北地区に学生が集う健全な場所設置を歓迎。「読み聞かせ」等、可能なところから協力したい▲大学から、市立図書館のワークショップや実習、読み聞かせ大学情報の掲示、大学教員の図書紹介コーナー設置等に感謝の言葉。

②「無料塾」開設で、市教委の意見を聞きたいのだが

▲北地区にそうした場所が作られるのを歓迎する▲大学から、「〇〇グングン塾」(大学側の要請「北星グングン塾」、「大学生が力になるグングン塾」)の名称要請は検討させて欲しいとの意見▲大学から、4月までに日程や内容を学生たちに考えさせ、市教委や学校に説明できるようにし、5月にはオープンしたい旨話した。

③その他

▲大学から、今年度から学校司書の全学校配置の努力義務が法的に位置づけされた。現在の図書支援員配置は高く評価しているが、是非とも司書の正式採用を図って欲しい。本学が司書、司書教諭資格課程の設置大学として役割を果たしたい▲こうした懇談がとても大事なことを両者は確認する。

1月15日(木)大学会議室で、大
学(斎藤、安藤、米津、坪内)と稚
内市教育委員会
(遠藤学校教育課
長、田澤図書館長、稲崎図書司書、
高井教育研究所長、江川研究所員)

の懇談を工藤事務局次長の司会で開
催。今年度から本格実施の連携事
業に対する総括的内容に。事業の成
果とともに「両者の努力で共同テー

「COOC」を連携のテーブル作りに

ブルが設置された」ことの大きな
意義を確認。全体として、今年度
事業を大きな
成果とし、新
年度の継続と発展を約束する内容
になりました。(文責/坪内)

